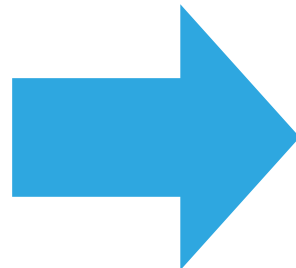


実は最近こんなことが・・・どうしちゃったんだろう？

初期～中期の様子



症状別ポイント・アドバイス

《認知症(初期)の様子》 認知症はありますが、日常生活は比較的自立できている**軽度の段階**です。そのため「あれ？おかしいかな？」程度で見逃されやすい**時期**でもあります。



たとえば…

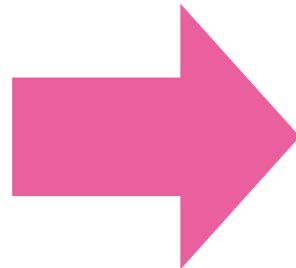
- 約束を忘れてしまうことがある
- 時間がわかりにくくなる
- 同じことを何度も言うことが増えた
- 料理の味付けが変わった

～家族の心構えとして～

接し方の基本

- ・驚かせない
- ・自尊心を傷つけない
- ・急がせない
- ・余裕をもって対応する
- ・接し方の基本を理解する

中期～後期の様子



《認知症(中期)の様子》 身の回りのことができなくなったり、生活に支障が出てくるような症状が多くなる**「混乱期」**です。介護をする人の負担が大きくなってくる時期なので心配です。

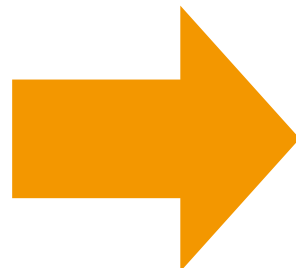
たとえば…

- 日にち、曜日、季節がわからない
- 道に迷うようになる
- 季節に合った衣類を選べなくなる
- ガスの消し忘れなどが多くなる
- 食事をしたことを忘れてしまう

～家族の心構えとして～

- ・家族間で今後のことを話し合う(できれば本人も交えて)
- ・本人にできる事はしてもらう
- ・接し方の基本を理解する

後期の様子



《認知症(後期)の様子》 少し前の事だけでなく、古い記憶も曖昧になってきます。人物についても見当をつけることが難しくなってきたり、身の回りのことで支援や介護が必要になります。



たとえば…

- 自宅のトイレの場所がわからない
- 家族がわからなくなる
- 簡単な言葉が出てこなくなる
- 話しかけた言葉が理解できない

～家族の心構えとして～

- ・介護者の健康を考える
- ・介護サービスを活用する
- ・医療機関とこまめなやりとりを行う